

施設名称

京都大学医学部附属病院

施設において移植可能な臓器



病院の特徴

- 2024年度の肝移植数 84件（生体移植67例、脳死移植17件）
- 移植担当医師（成人代表医師名：伊藤 孝司・小児代表医師名：岡本 竜弥）
- 移植認定医数 13名 ●認定レシピエント移植コーディネーター 1名
- 移植実施施設としての特徴：

安全な移植医療を行うために、質の高いチーム力で、新生児から高齢者(70歳未満)の幅広い年齢層と疾患を対象として、2025年9月までに国内最多の2278例（生体2131例、脳死137例、ドミノ10例）を実施。また、複数臓器同時移植（肝腎同時移植: 9例、肝小腸同時移植: 3例、生体肝肺同時移植:1例(世界初)）に取り組んでいます。また、先進医療B（切除不能肝門部胆管癌・切除不能大腸癌肝転移に対する肝移植）にも積極的に対応しています。移植後5年生存率は90%以上と良好な成績を収めています。

待機患者数
(作成日現在)50人
(成人44人 小児6人)死体移植実施数
(過去3年間)12件（2023年）
うち肝小腸同時移植 1件
17件（2024年）
うち肝腎同時移植 2件
11件（2025年）（9月末まで）
うち肝腎同時移植 2件

お問い合わせ先

京都大学医学部附属病院
移植情報室
(担当) 梅谷 由美電話：075-751-3243
診療科HP：<https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/department/departments/hpst.html>